

# 地方創生の取組について

平成27年11月18日

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府地方創生推進室

# 地方は少子高齢化の「最前線」:「一億総活躍」の緊急課題の一つ

## 地方創生をめぐる現状認識

### ①人口減少に歯止めがかかっていない

<H26年>

- ・出生率:9年ぶりに低下、1.42
- ・年間出生数:過去最低約100万人

### ②東京一極集中が加速

<H26年>

- ・東京圏への転入超過は約11万人(3年連続増加)

### ③地方経済と大都市経済で格差が存在

- ・地方経済は雇用面は改善、消費回復に遅れ
- ・生産性などで大きな格差

## ◎地方創生は、総合戦略策定から事業推進の段階へ

(26年度)

**総合的な施策メニュー整備**  
国の「総合戦略」の策定

まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略(平成26年12月27日閣議決定)

### 【長期ビジョン】

- 2060年に1億人程度を確保
- 2050年代に実質GDP成長率1.5~2%程度維持

### 【総合戦略】

- 2015年から5カ年の戦略
- 4つの基本目標設定と政策パッケージの策定

(27・28年度~)

**具体的な事業の本格的推進**  
「地方版総合戦略」の策定と推進

まち・ひと・しごと創生基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

### ①「稼ぐ力」を引き出す

(生産性の高い、活気に溢れた地域経済の構築)

### ②「地域の総合力」を引き出す

(頑張る地域へのインセンティブ改革)

### ③「民の知見」を引き出す

(民間の創意工夫の最大活用)

# 地方創生における主な取組

## I 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

### ローカル・アベノミクスの実現

○ローカルイノベーション

○ローカルブランディング

○ローカルサービスの生産性向上

○人材の地方還流

## II 地方への新しいひとの流れをつくる

○「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想の推進

○政府関係機関の移転

## III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○「地域アプローチ」による少子化対策・働き方改革

## IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

○「小さな拠点」の形成

○コンパクトシティの形成

○東京圏問題への対応

## <地方の主体的な取組への多様な支援>

### ○情報支援

- ・地域経済分析システム (RESAS)

### ○人材支援

- ・地方創生人材支援制度
- ・地方創生コンシェルジュ

### ○財政支援

- ・「新型交付金」の創設等
- ・税制改正(地方創生応援税制の創設等)

# 「一億総活躍」社会実現に向けた、地方創生の主な取組

## 地方創生

少子高齢化の流れに歯止めをかけ、誰もが活躍できる「一億総活躍」の社会を創り上げる

地方の取組に対して、情報・人材・財政面で支援

地域のしごとをつくる

地方へひとの流れをつくる

結婚・子育てを支援する

時代に合ったまちをつくる

希望を生み出す  
強い経済  
GDP600兆円

ローカル・アベノ  
ミクスの実現

コンパクト・シティ、  
小さな拠点

夢をつむぐ  
子育て支援  
希望出生率1.8

地域少子化対策  
の推進

安心につながる  
社会保障  
介護離職ゼロ

生涯活躍のまち  
(日本版CCRC)

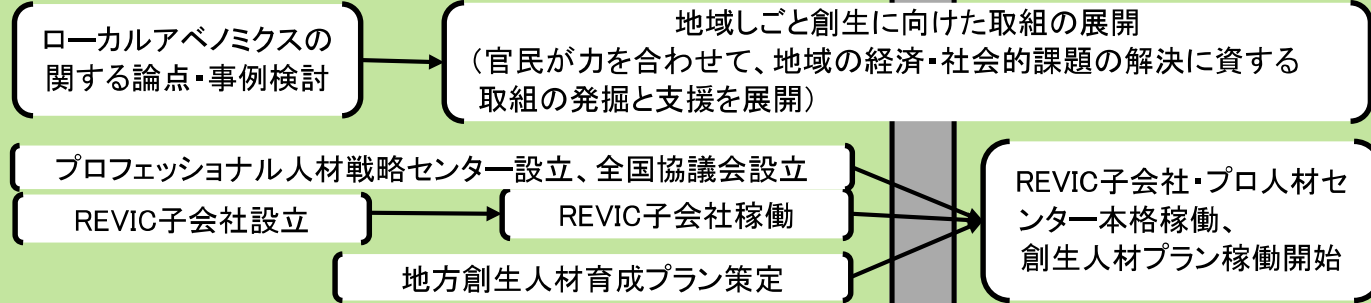
一億総活躍社会

～12月

～3月

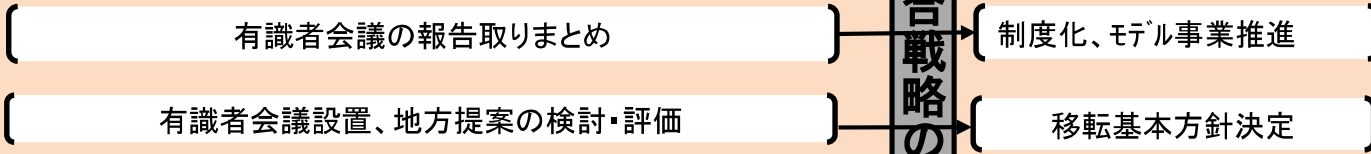
# I 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ローカル・アベノミクス
- ローカルイノベーション
- ローカルブランディング
- サービスの生産性向上
- 人材の地方還流



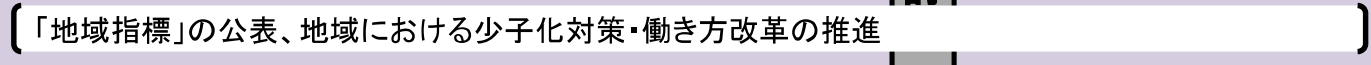
# II 地方への新しいひとの流れをつくる

- 「生涯活躍のまち  
(日本版CCRC)」
- 政府関係機関移転



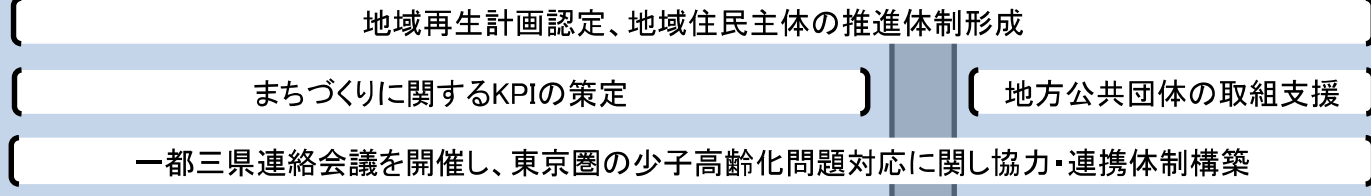
# III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 地域アプローチ



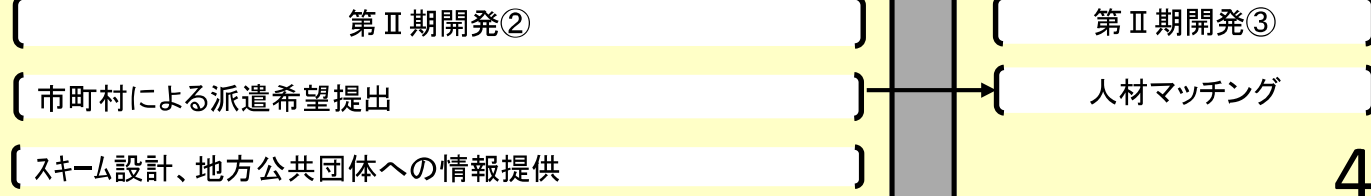
# IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 小さな拠点
- コンパクトシティ
- 東京圏 問題



# V 多様な支援

- 情報支援
- 人的支援
- 財政支援(新型交付金等)

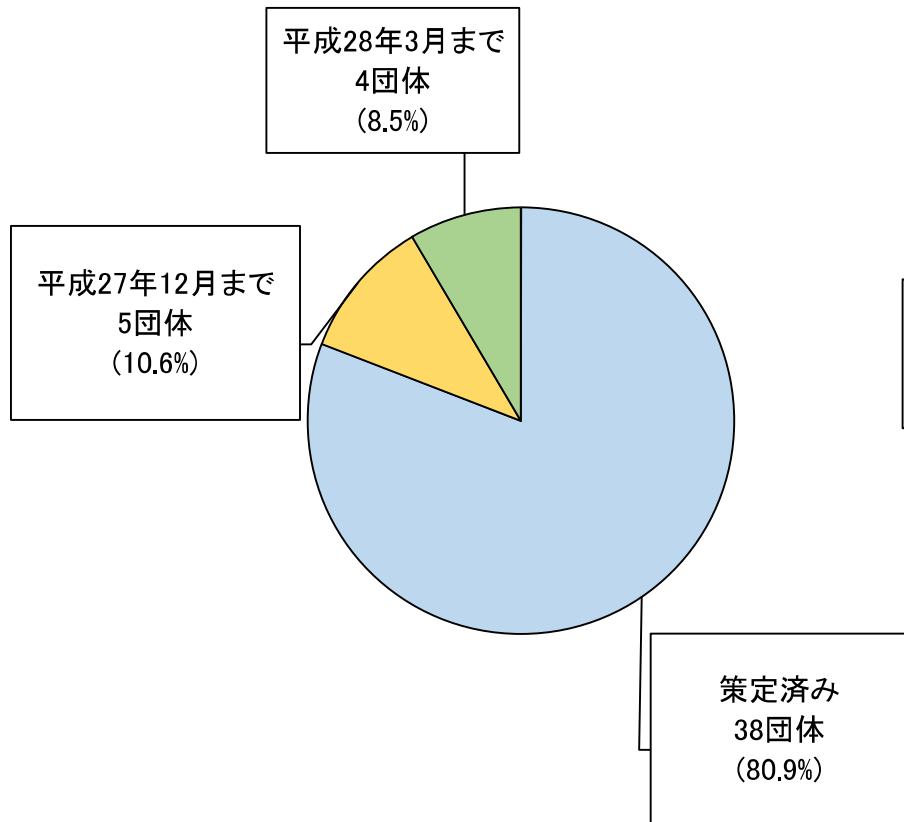


総合戦略の改訂

# 地方版総合戦略の策定状況

(平成27年10月30日現在)

## 【都道府県】



## 【市区町村】

